

## 年 間 授 業 計 画

1 科目名	地理A	2 履修学年	3学年
3 必修・選択	必修選択	4 履修単位	2単位
5 教科書	高等学校新地理A(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)		
6 副教材等	なし		
7 学習目標	多様な世界と地球的課題を認識させる。		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	緯度と経度	赤道・本初子午線と経緯線を理解させる。時差と日付変更線を理解させる。	
5	世界の国々	世界の国々と首都・都市などを理解させる。	
6	世界の地形・気候	世界の陸地が、安定陸塊・古期造山帯・新期造山帯からなることを知る。ケッペンの気候区分を理解する。	
7	東アジアの生活と文化	東アジア(中国・韓国)の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	
9	東南アジア・南アジアの生活・文化	東南アジア・南アジアの生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	
10	西アジア・アフリカの生活と文化	西アジア・アフリカの生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	
11	ヨーロッパの生活と文化	ヨーロッパの生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	
12	アングロアメリカ・ラテンアメリカの生活と文化	アングロアメリカ・ラテンアメリカの生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	
1	オーストラリアの生活と文化	オーストラリアの生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	
2			
3			
9 評価の観点・方法			
年間2回の定期考査とプリント・ノート提出などの平常点で評価を行う。			
10 学習上の留意点			
地理を身近な学問と感ずるように、作業学習を取り入れ、実物教材や視聴覚教材を用いて生徒の興味・関心を引き出す。			